

中学校第3学年 英語科 学習指導案

期 日 平成 25 年 10 月 30 日 (水) 第 5 校時
 場 所 山鹿市立菊鹿中学校 3 年 2 組教室
 指導者 教諭 益本真裕
 ALT ナタン・ストラトン

1 単元名

「Program 7 What Is the Most Important Thing to You?」 (SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 開隆堂)

2 単元について

(1) 単元観

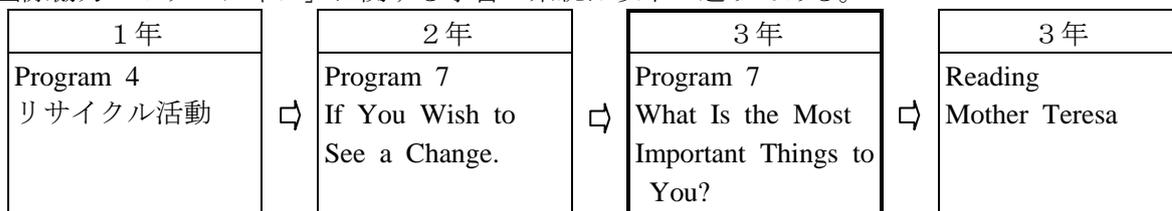
本単元は、世界中でボランティア活動を行いながら途上国を支援し、また途上国のために働く意欲のある人材を育成する取組を続ける山本敏晴さんの活動について学ぶ。山本さんが取り組んでいる「お絵かきプロジェクト」の活動を通して、アフリカや南太平洋の途上国の現実を知り、自分の夢や希望を持って生きる子供たちの描いた絵に込められた力強いメッセージを読み取ることで、国際協力の意義や私たち一人一人に何ができるのかなどを考えさせることができる題材である。また、山本さんの生き方や考え方について学ぶことを通して、自分の生き方や在り方について考えを深めることが期待できる。

本単元の新出言語材料は、関係代名詞主格 (who, which, that) であり、これらは人やものについて詳しく説明する際に多用される表現である。この言語材料を活用し、英語による人や物のより詳しい説明の仕方を身に付けることや、豊かな表現力を育成することが期待できる。本単元での言語材料の使用場面は、「b 生徒の身近な暮らしにかかわる場面」であり、「言語の働き」としては、「c 情報を伝える」のうち「説明する」「発表する」「描写する」などの言語活動に当たる。

Speaking 5 の題材は、隆志が靴を買うために訪れる靴店での対話である。店員に自分が探しているものを正しく伝えたり、店員の説明や助言を聞きながら自分が本当に欲しい商品を確認したりするなどの言葉のやり取りを通して、英語でコミュニケーションを図ることを十分楽しませることができる題材である。

(2) 系統観

「国際協力・ボランティア」に関する学習の系統は以下の通りである。



(3) 生徒観

○意欲的に授業に参加し、与えられた課題に対して真面目に取り組むことができる生徒が多い学級である。学習課題に取り組む際に、自分の考えを発表することに躊躇しがちな生徒も見られるが、お互いに協力しながら言語活動に取り組んでおり、全体的に学習意欲が高い。

○英語学習に対する意識調査 調査日：平成 25 年 8 月 22 日 調査対象：26 人 単位：%

ア、あてはまる イ、まあまああてはまる ウ、あまりあてはまらない エ、あてはまらない

アンケート項目 (一部抜粋)	ア	イ	ウ	エ
1 英語は好きな教科である。	30.8	50.0	19.2	0.0
2 自分の伝えたいことを英語で話す学習は好きである。	23.1	50.0	23.1	3.8
3 自分の伝えたいことを英語で書く学習は好きである。	7.6	38.5	46.2	7.7
4 英文を書くとき文と文とのつながりを考えて書いている。	15.4	53.8	26.9	3.9
5 英文を書くとき、その英文を読む人を意識して書いている。	7.7	19.2	69.2	3.9
6 英文を書くとき、文をつなぐ語 (and, because, if, when など接続詞) を使うことを意識している。	24.2	44.3	27.6	3.9
7 英文を書くとき、代名詞を使うことを意識している。	15.3	23.1	50.1	11.5

8月に実施した英語学習に対する意識調査によると、8割以上の生徒が英語学習に対して「好き」または「まあまあ好き」と回答しており、英語の学習に好意的であることが分かる。また、「英語で話すこと」に関しては約73%の生徒が「好き」または「まあまあ好き」と回答しているが、「英文を書くこと」に関しては同じ項目で約46%となっている。マインド・マップによる口頭要約などの継続した指導を通して、「話すこと」に前向きな生徒が多くなっているが、「書くこと」に関しては、まだ自信を持っていない生徒の姿が見える。英文を書く際には、文と文とのつながりを考えたり、接続詞を適切に使うことを意識したりしている生徒が7割近くであるのに対し、英文の結束性を高める「代名詞の適切な使用」を意識している生徒は4割未満にとどまっている。さらに、「読み手を意識して書いている」生徒の割合が約27%と低い。

○「国際協力」に対する意識調査 調査日：平成25年10月10日 調査対象：26人 単位：%

- ①「国際協力」とは、どういうことをすることかを書いてください。
貧しい国を支援すること 戦争が起きないようにすること
貧しい国にお金を寄付すること 海外青年協力隊 学校を作る など
- ②あなたは「国際協力」が必要だと思いますか。 思う(80.8) 思わない・分からない(19.2)
- ③あなたは「国際協力」に興味がありますか。 興味がある(76.9) 興味がない・分からない(23.1)
- ④あなたは外国に行ってみたいと思いますか。 行ってみたい(96.2) 行きたくない・分からない(3.8)

10月に実施した国際協力に対する意識調査によると、ほとんどの生徒が国際協力は必要であると考えており、国際協력에興味がある生徒も8割前後であった。「国際協力」の内容については、「貧しい国を支援する」「海外青年協力隊」「学校を作る」などがほとんどで、中学生の自分たちができることにまで考えが深まっていなかったことが分かる。

(4) 指導観

- 今日、多くの日本人が海外でボランティアとして働いているが、本校生徒にとってはあまり身近なものではない。そこで、山本敏晴さんの書籍や活動を紹介する映像・写真等を、導入の場面で十分に紹介することにより、生徒の「国際協力」に対する背景知識を活性化し本題材に対する興味を持たせたい。さらに、生徒たちに「世界で活躍する菊鹿の人」の話を紹介することで、世界をより身近なものとしてとらえさせたい。
- 山本敏晴さんの活動の一つである「お絵かきプロジェクト」について学ぶことを通して、山本さんの生き方・考え方に共感し、自分自身の生き方や在り方を考える機会にする。また、アフリカや南太平洋の途上国の現実を知り、物質的に豊かな日本に住む者の一人として、国際協力の意義や私たち一人ひとりに何ができるのかを考えさせ、発信する場を設ける。
- Speaking 5の靴を試着し購入するという場面での対話では、口頭練習を繰り返し行ったりペア学習を効果的に行ったりすることで、自然なやり取りができるようになるまで生徒の英語運用能力を高めた。
- 英語を「コミュニケーションの手段としての英語」として捉えさせるために、様々なクラスルーム・イングリッシュを使いながら自然な形で英語に触れさせたい。
- 「書くこと」に関しては、「口頭練習の徹底指導→課題英作文を通して確認→目的意識・相手意識を持った活用」の流れを重視し、「話すこと」から「書くこと」へと統合的に指導する。さらに自分自身のことや身近なことなどについての英文を加えながら、意欲的な自己表現活動へとつなげていきたい。
- 「学力向上」と「仲間づくり」を中心に据えて、授業を行う。生徒同士での学び合い活動やコミュニケーション活動を効果的に行うことで、互いに助け合いながら課題に取り組むことができる雰囲気を作りたい。

【視点1】 思考力・判断力・表現力等の育成	【視点2】 学習評価と指導の改善	【視点3】 情報活用能力の育成
<p>【視点1】 本単元では、国際協力を携っている山本敏晴さんについて、生徒自身の意見や考えを交えながら説明する学習課題を設定している。これらの言語活動において、お互いの情報や意見・考えを伝え、発想を広げる活動を行い、豊かなかかわり合いのある授業を目指す。また、お互いの英文を評価・改善する活動を通して、論理的な思考力等を育成する。</p>	<p>【視点2】 本単元では、生徒自身の意見・考えを英文でまとめ、さらに、より説得力のあるものにするためのポイントを基に、お互いの英文を評価・改善する活動を通して、生徒の思考の過程を評価する授業を目指す。また、まとまりのある英文を書くための知識や技術を習得しているかを評価し、指導の改善につなげる。</p>	<p>【視点3】 本単元では、英文を書くための情報を収集させるために、絵や写真、数値などを示したり、インターネット等を活用させたりするなど、主体的な情報活用を促す授業を目指す。また、より論理的な英文にするために、マインド・マップの手法を活用して収集した情報を分類・整理する言語活動を取り入れ、生徒の情報活用能力の育成を図る。</p>

3 単元の目標と評価規準(参考：国立教育政策研究所作成「評価規準の設定例」)

単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○山本敏晴さんの活動について、本文の内容を正しく読み取ることができる。 ○関係代名詞主格(who, which, that)の文構造・意味・用法を理解することができる。 ○山本敏晴さんの活動や生き方などについて、自分の言葉で説明することができる。 ○途上国の現実や子どもたちのメッセージを理解し、日本人としての自分の在り方について考えとともに、国際協力に関心を持つ。 ○買い物で用いる定型表現を理解し、場面や状況に応じて適切に話すことができる。
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ①山本敏晴さんの活動や生き方などについて、積極的に考えたり自分の言葉で表現したりしようとしている。 ②買い物の場面でのやりとりを楽しみながら、積極的に必要な情報を伝えたり尋ねたりしている。
外国語表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> ①本文を活用しながら、山本さん自身や山本さんが取り組んでいる国際協力等について説明することができる。 ②関係代名詞(主格)を用いて、人や物を説明する英文を書くことができる。 ③買い物の場面にふさわしい表現を用いて話すことができる。
外国語理解の能力	山本さんの生き方や活動などについて正しく理解することができる。
言語や文化についての知識・理解	関係代名詞(主格)の文構造・意味・用法を理解している。

4 指導・評価の計画(10時間取扱い 本時3/10)

次	時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 【三つの視点から】	評価の観点(評価方法) B基準
	1	○Program 7-1の本文の内容を、国際協力を携わる山本敏晴さんの生い立ちや途上国の現状を中心に読み取り、国際協力について関心を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・山本さんほどのような人物であるかを考えさせることを通して、次時の学習課題に対しての意欲を高める。 【視点1】日本人としてどうあるべきかを、グループで話し合い、考えを深めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 関心・意欲・態度①(観察) 山本さんほどのような人物であるかを積極的に考えている。 理解の能力(ワークシート) 山本さんの生き方についての英文を正しく読み取り、内容に関する質問に答えることができる。

1	2	○関係代名詞who(主格)を用いて、山本さんはどのような人物であることを説明する。	・例文を提示しながら、関係代名詞who(主格)の文構造を正しく理解させ、適切に運用しながら英文を書かせる。 ・自分自身がどのような人物になりたいかを考えさせる。	表現の能力①②(ワークシート) 関係代名詞(who)を用いて、山本さんの説明をすることができる。 知識・理解(ワークシート) 関係代名詞(who)の文構造・意味・用法を理解している。
	3 本 時	○Program 7-1の内容を基に、山本さんの生き方や考え方、自分の考えや感想などについて、英語で表現する。	・マインド・マップを用いながら、山本さんについての情報を整理し、口頭要約させた後書くことの活動につなげる。 ・事実だけではなく、自分の考えや感想を加えて述べさせる。 【視点3】まとまりのある英文を書くために、マインド・マップの手法を使ってキーワードを収集・分類・整理させる。 【視点1】お互いの情報や意見を伝え合ったり、ほかのペアの英文に対するアドバイスをしたりする活動を通して、考えを深めさせる。	表現の能力①②(観察・ワークシート) 関係代名詞(who)を使って、山本さんの生き方や考え方、またそれに対する自分の考えなどについて、4文以上の英文で書くことができる。
	4	○Program 7-2の本文の内容をツバルやルーマニアの現状を中心に理解し、日本の環境について考えを深める。	・本文の内容を理解させるだけではなく、自分の意見や考えを持ちながら読み進めさせる。 【視点1】グループで、ツバルやルーマニア及び日本はどのような国かを話し合いながら考えを深めさせ、次時の学習課題に対しての意欲を高める。	理解の能力(ワークシート) 子どもたちの絵に込められたメッセージを、正確に読み取ることができる。
2	5	○関係代名詞which(主格)を用いて、ツバルやルーマニア及び日本はどのような国であることを英文で書いたり、発表したりする。	・関係代名詞which(主格)の文構造を正しく理解させ、本文の表現を活用しながら英文を書かせる。	知識・理解(ワークシート) 関係代名詞which(主格)の文構造・意味・用法を正しく理解している。 表現の能力②(ワークシート) 関係代名詞whichを用いて、ツバルなどの国々について、4文以上書くことができる。
	6	○Program 7-3の本文の内容を読み取り、山本さんは「お絵描きイベント」で、何をしようとしているか考える。	・「お絵描きイベント」の意義を考えさせる。 【視点1】山本さんの活動の意義や自分たちにできることは何かを、グループで話し合いながら考えを深めさせる。	理解の能力(ワークシート) 山本さんの活動についての英文の内容を読み取ることができる。
3	7	○関係代名詞that(主格)を用いて、「宇宙船地球号」や「お絵描きイベント」について説明する英文を書くことができる。	・関係代名詞that(主格)の文構造を正しく理解させ、適切に運用しながら英文を書かせる。 【視点3】山本さんが行っている国際協力に関する絵や写真、映像などを提示し、英文を書くための情報を主体的に収集・整	表現の能力①②(ワークシート) 関係代名詞を用いて、山本さんの活動について4文以上の英文を書き、発表することができる。 知識・理解(ワークシート) 関係代名詞(that)の文構造・意味・用法を理解している。

			理させる。	
	8	○「世界で活躍する菊鹿の人」について話を聞き、自分の在り方について考え、英文で書いたり発表したりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・マインド・マップを用いながら分かりやすい英文を書くための工夫を考えさせる。 ・事実だけではなく、自分の考えや感想を加えて述べさせる。 【視点3】まとまりのある英文を書くために、マインド・マップを使ってキーワードを収集・分類・整理させる。 【視点1】お互いの情報や意見を伝え合ったり、ほかのペアの英文に対するアドバイスをしたりする活動を通して、考えを深めさせる。	表現の能力①②(観察・ワークシート) 関係代名詞(who)を使って、本時で学んだ人物の生き方や考え方、またそれに対する自分の考えなどについて、4文以上の英文で書くことができる。
4	9	○山本さんについて、自分の言葉で説明する英文を完成させ、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文や事前の授業で書いた英文を活用しながら、山本さんの活動についてまとめ、自分の考えや感想を加えて、まとまりのある英文を5文以上書かせる。 【視点1・2】グループでお互いの英文を交換し、ペアで英文を評価したり、より分かりやすい英文にするためのアドバイスを考えたりさせる。	関心・意欲・態度①(観察) 山本さんの生き方や考え方や及び自分の考えなどについて、積極的に自分の言葉で表現しようとしている。 表現の能力①②(ワークシート) アドバイスを基に、5文以上のまとまりのある英文を書くことができる。
5	10	○Speaking 5 買い物④(靴を買う) 買い物の場面でよく使われる単語や文章を理解し、使用場面に応じて適切に運用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・言語の働きや使用場面を意識しながら、言葉のやり取りを楽しませる。 ・相づち、聞き返し等を用いながら、会話を豊かなものにさせる。 	関心・意欲・態度②(観察) 買い物場面での簡単なやり取りに積極的に取り組んでいる。 表現の能力③(観察) 買い物場面にふさわしい定型表現や語彙を使って、簡単なやり取りをすることができる。

5 本時の学習

(1) 目標

関係代名詞(who)を使って、山本さんの生き方や考え方、自分の考えなどについて、4文以上の英文で書くことができる。

(2) 展開

過程	学習活動	主な発問・指示等	指導上の留意点及び評価 【三つの視点から】	備考
導入 10分	1 Warming up (1) 新出語の口頭練習 (2) 動詞の口頭練習 (3) リレーリーディング		○テンポ良く行う。 ○教師の支援は最小限にとどめ、生徒同士による協働学習を中心に組みこませる。	教材文
展開 30分	2 教科書の本文を振り返る。 3 山本さんについて英語で表現する。 (1) 本時の課題を確認する。 (2) 教師や他の生徒の例を聞く。 (3) ペアで発表する。 (4) 全体で共有する。 4 山本さんについて自分の考えや感想を加えながら英文を書く。	○Who is this man? ○What is he doing? ○Where did he visit? ○What did he see there? ○Today we'll write about Mr. Yamamoto and your ideas in English. ○語順を意識して英文を作り発表しよう。 ○マインド・マップで整理した内容を基に、英文を書こう。 ○自分の考えを入れた英文を書こう。	○簡単な質問を行い、本文の内容を振り返らせるとともに、必要に応じて口頭練習を行う。 【視点3】まとまりのある英文を書くために、マインド・マップを使ってキーワードを収集・分類・整理させる。 ○ペアで繰り返し活動を行うことで、文構造の定着を図る。 ○友だちの発表を参考に、自分の表現を広げさせる。 ○キーワードを基に、文全体の構成を考えさせる。	挿絵
	<p>【言語活動】</p> <p>マインド・マップを用いたり、友だちの英文を参考にしたりしながら、山本さんについてのまとまりのある文章を書くことを通して、論理的思考力等を育成する。</p>		<p>評価:表現の能力①②(ワークシート)</p> <p>B基準関係代名詞(who)を使いながら、山本さんについてまとまりのある英文を4文以上書くことができる。</p> <p>A基準関係代名詞(who)を使いながら、山本さんについてまとまりのある英文を、自分のことや気持ち・考えを加えながら、5文以上で書くことができる。 (B基準に達しない生徒への手だて) ペアで協働学習をさせたり、個別支援をしたりする。</p> <p>【視点1】ペアで意見を交換したり検討したりすることで、考えを深めさせる。</p>	ワークシート
整理 10分	5 友だちの英文をピア・フィードバックの視点の基に、評価しアドバイスをを行う。 6 本時の学習のまとめを行う。 (1) グループの代表が発表する。 (2) 次の学習内容を知る。	○ピア・フィードバックの視点を基に、お互いの英文を読んで、より分かりやすい英文にするためのアドバイスをしましょう。 ○Would you read your writing?	<p>(ピア・フィードバックの視点)</p> <p>①正しい語順で書くことができているか。 ②自分の考えや感想を書くことができているか。 ③代名詞の使用は適切であるか。 ④分かりやすい英文になっているか。</p>	ワークシート

